

たばた議員

(1) 雨宮第一踏切の存続について

雨宮アンダーパスの工事が進んでいるが、開通後、JR東日本はアンダーパス東側の雨宮第一踏切の閉鎖を考えていると聞く。アンダーパスには、途中から下りる階段なども設置されず、線路付近の住民にとっては、踏切が閉鎖されると不便を強いられることになるため、以下質問する。

市から、JR東日本に対し、踏切の存続を求めているか。また、JR東日本の回答は。

アンダーパスを設置している東京都に対し、階段等の整備ができないのであれば踏切の存続に協力するよう、要請を行なってはどうか。

(2) 旧秋川高校の跡地利用について

旧秋川高校跡地について、市は産業系の企業誘致を考えていると聞いている。しかし、昨今の不況の状況を見ると、企業の進出やそれによる増収の見込みが低いことは明らかである。こうした状況を踏まえ、以下質問する。

旧秋川高校跡地利用について、現状の市の考えは。また、東京都はどのように考えているか。

企業誘致にこだわらず、あらためて市民の声を聞き、利用方法を考え直してはどうか。

(3) 非核平和都市宣言について

戦後68年の今年も、広島・長崎での平和式典において、二度と核兵器が使われることのないようにとの平和宣言がされた。安倍首相も「唯一の被爆国民であるわれわれには、核兵器のない世界を実現する責務がある」と表明した。一方当市では、依然として非核平和都市宣言がされておらず、市民憲章にも「平和」「非核」の言葉はない。このことについて以下質問する。

2013年4月現在、1566自治体が非核平和都市宣言を行なっている。東京都内でも、すでに23区、25市が宣言しており、市として残っているのは当市だけとなった。核兵器のない世界を願い、平和を希求する日本国民として、当市でも非核平和都市宣言を行なうべきではないか。

東京都の38自治体も加盟している平和首長会議への加盟の考えはないか。